年度末報告書（実行団体）

● ● 提出日　：　2022 年 3 月 31 日
● 事業名　：　困難を抱える子どもを早期から切れ目なく支える地域の生態系作り
● 資金分配団体　：特定非営利活動法人エティック
● 実行団体　：特定非営利活動法人 Learning for All
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　□有　■無

①　実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
1-1）子どもへの学習支援	指導回数	A 区：216 回（延べ） B 市：264 回（延べ）	2023/3	A 区：167 回（延べ） B 市：204 回（延べ）	2
1-2）子どもの人数	登録数	A 区：46 人（延べ） B 市：132 人（延べ）	2023/3	A 区：29 名（延べ） B 市：100 名（延べ）	2
2-1）関係者との連携	接点回数	30 回（延べ）	2023/3	A 区：93 回（延べ） B 市：90 回（延べ）	1
2-2）関係者との連携	関係者数	A 区：60 人（延べ） B 市：60 人（延べ）	2023/3	A 区：70 名（延べ） B 市：46 名（延べ）	1

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
1.達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3. 活動に関する報告
A 区・B 市それぞれで報告する ■ A 区 - 事業実施状況 ▯ コロナウイルスの感染予防に注力しながら、予定通り支援・現場運営を実施した。 - アウトプット・アウトカムとして定義した成果 ▯ 年間計画に沿い、週 2 回の学習支援を続けており、年間 95 回の学習支援を実施した。また、登録生徒数は 15 名であり、当初計画通りの人数に支援を届けることができている。関係者と子ども支援において接点を持つ回数は 83 回あり、行政の相談員、スクールソーシャルワーカーや地域の民生委員、NPO 職員など多様な関係者と連携することができている。また、そのように連携する関係者の数は 20 名を超えており、セーフティネットの網の目を細かくすることができた。その成果として、下に記載している「その他の成果」のような新しい取り組みが生まれたこと、また支援している子ども全員の支援計画に沿った学力・非認知能力の向上が挙げられる。例えば、ある中学校 3 年生の子どもは 9 月頃までは高校進学に対しての意欲がわかず半年ほど学習に集中することできない状態が続いていたが、拠点で子どもとスタッフで高校についての情報収集をする時間や子ども自身が高校を選ぶうえで大切にしたいことを考える時間を重ねていったことで、本人が進学したいと思う高校を見つけること

ができた。その結果、10 月頃から受験当日まで拠点での学習に集中して取り組むことができるようになっただけではなく、子どもが自主的に家庭学習を進めることができるようになり、進学を希望していた高校に合格することができた。

- その他の成果
  - 区内の子ども支援ネットワークの他団体からの提案で葛飾区の子どもの居場所を増やしていくためにプレイパークに取り組んでいきたいという提案があった。当団体の意欲を尊重し、LFA としての協力できるポイントを提示しながら実施に向けて話しを進めていき、4 月の下旬での第一回目の開催が決定、これをきっかけにリスクのある子どもを発見し、アウトリーチできる場に育てていきたい。
  - 拠点のある地域の民生委員の声かけで区の民生委員の児童福祉部会で講演会を行うことになった。葛飾区の子どもの現状から、LFA の活動内容、民生委員の方々に期待することをお伝えした。実施後に民生委員の方から紹介したいケースや連携の提案などの声をもらっており、今後の連携のきっかけとなると考えている。

■ B 市

- 事業実施状況
  - コロナウイルスの感染予防に注力しながら、予定通り支援・現場運営を実施した。
- アウトプット・アウトカムとして定義した成果
  - 年間計画に沿い、週 1 回の学習支援を続けており、全拠点合計年間 116 回の学習支援を実施した。また、登録生徒数は 56 名であった。関係者と子ども支援において接点を持つ回数は 80 回以上あり、特にスクールソーシャルワーカーや行政の担当課の職員、学校教員と主に連携した。また、そのように連携する関係者の数は 30 名近くおり、セーフティネットの網の目を一層細かくすることができた。その成果として、下に記載している「その他の成果」のような新しい取り組みが生まれたこと、また支援している子ども全員の支援計画に沿った学力・非認知能力の向上が挙げられる。
- その他の成果

- 地域で長年フリースクールを運営している NPO 法人と連携し昨年度立ち上げた、不登校対策の教室の運営は今年度も継続して実施している。具体的には、NPO 法人 B が自治体との協働事業として運営しているフリースペース・学習スペースの特定の運営日に、LFA から LFA の現場を経験したことのある学生スタッフ及びボランティアを派遣して、当該教室運営をサポートしている。
- 不登校対策の教室の運営には LFA を含めて 3 つの事業者が運営に参画しており、各事業者の強みを持ち寄って、事業者同士で研修会を開催する計画をたてている（LFA からも講師として登壇する予定）。各事業者の強みを活かし相互研鑽を図る中で、不登校対策教室のみならずそれぞれの支援拠点のなかでより良い支援を実践していくことを図っている。
- 地域のとある NPO 法人からご紹介いただき、性教育講座を開催することができた。主に父子世帯の子どもたちが参加しており、当日参加した子どもたちからは「普段父子家庭で相談できないが、相談できてよかった」「楽しかった。また聞きたい」との肯定的な意見が多く聞かれた。

6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
・A 区においては、消毒など感染対策の徹底。コロナ禍で子ども食堂の実施が難しいことを鑑み、2020 年度の夏休み中には、困窮世帯の子どもたちを対象にお弁当を提供するプロジェクトを地域の他の団体と連携して立ち上げ、実施した。2021 年度において、特に受験前には受験生の感染に配慮し、通常よりも使用する教室を増やし拠点内での感染拡大がしにくい状況を意識的に作った。 ・B 市においては、2021 年度夏期休暇の学校内学習支援を中止。その後秋～冬期の学校内学習支援の一部期間において、施設利用禁止に伴い、小学校拠点 2 校はオンライン支援に切り替えて実施し中学校拠点 1 校は中止とした。地域内学習支援拠点は感染対策を徹底しつつ継続しているが、緊急事態宣言下世帯不安に合わせてオンライン対応が可能であることを世帯と相談した。（相談結果、オンライン希望はおらず全世帯が対面を希望したため、全員対面での支援を実施している。） ・いずれの地域においても、休校下でストレスがかかっている様子が見られたり・勉強の苦手意識を吐露する子どもが多かったため、学習を無理強いせず、リラックスして人と触れ合える時間や気持ちに寄り添うことに注力した。 3（～6）ヶ月ほど経過後、子どもたちは自ら学習する意欲を見せた。例えば、ある児童については、学校の定期テストを支援現場に持ってきて今後の学習計画について一緒に考えようとする様子等が見られた。またある高校受験学年の生徒は志望校に合格し（支援の卒業後）クラスで 2 番を取るなど学習について主体的に頑張り続けている様子がみられる。

③広報に関する報告

1.　シンボルマークの使用状況
☐自団体のウェブサイトで表示している　　☑広報制作物に表示している ☑報告書に表示している　☐イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2.　広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） ・本事業に特化した制作物はなし ・団体としてのメディア掲載については、主要なものは下記の通り。 －TOKYO 人権 4 月号 －NHK スペシャル －ビジネス・インサイダー(8 月 9 日) －おはよう関西(11 月 18 日) －朝日新聞(1 月 4 日) 2.広報制作物等 ・本事業に特化した制作物はなし 3.報告書等 ・全社の活動報告書については別資金で作成し、5 月以降に HP に掲載予定 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等） ・特になし

④規程類の整備に関する報告

1.　事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☐完了　　☑整備中
2.　整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
☐全て公開した　☑一部未公開　☑未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日： コロナによる現場運営体制の変更や経理財務管理・職員採用の強化の優先度が高く、情報公開に関する規定・文書管理に関する規定の策定が後ろ倒しとなったまま、公開ができていない状態となっている。2022 年 7 月頃を目指して改めて内部規定の作成、情報公開をすすめることを予定している。
3.　変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由： ※特に変更をおこなっておりません

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

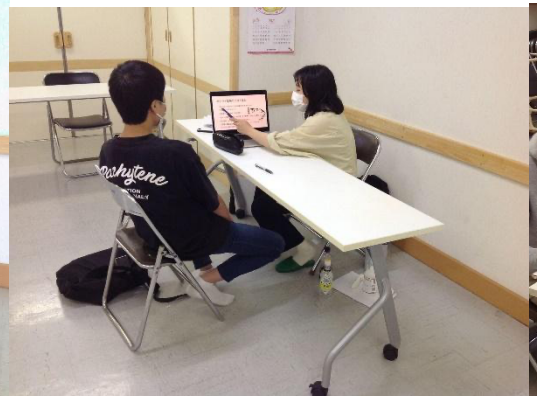
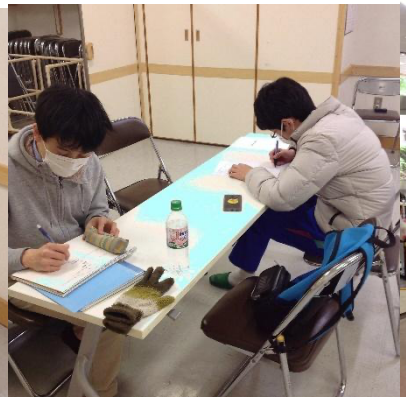
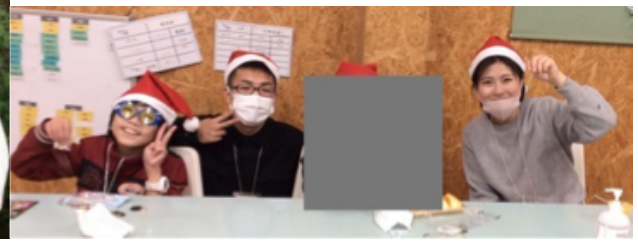
1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☑内部に窓口を設置　　☐外部に窓口を設置　　☐ JANPIA の窓口を利用

3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☑はい　　☑いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由： ④-2 記載の通り、情報公開に関する規定自体の策定が遅延している。「事業報告、貸借対照表及び損益計算書、財産目録」の公開は行えているため、2022 年 7 月を目指し、その他の情報公開をすすめる。
5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☑内部監査を実施　　☐外部監査を実施　　☐実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）

A 区




B 市